

家計簿 解説

収入

「親からの仕送り」と「生活資金のためのローン借入れ」が少ないことが特徴です。「基本給」など他の収入源である程度賄えているため、「親からの仕送り」をあまり受けずに済んでいます。

年収を500万円とすると・・・

	平成26年度決算	平成16年度決算
基本給（市税）	243 万円	220 万円
諸手当（地方譲与税・交付金・国県支出金）	129 万円	74 万円
貯金の取り崩し（繰入金）	15 万円	7 万円
家賃収入（分担金・負担金・使用料・手数料・財産収入・寄附金・諸収入）	33 万円	18 万円
親からの仕送り（地方交付税）	3 万円	1 万円
生活資金のローン（臨時財政対策債）	6 万円	13 万円
家の増改築ローン（市債）	50 万円	38 万円
前年度からの繰り越し（繰越金）	21 万円	24 万円
合計	500 万円	395 万円

支出

「ローン返済」が少ないことが特徴です。特別会計を含めた、市民1人当たりの借金残高は県内市（政令市を除く16市）で一番少なくなっています。

年収を500万円とすると・・・

	平成26年度決算	平成16年度決算
食費（人件費）	79 万円	84 万円
医療費（扶助費）	103 万円	43 万円
ローン返済（公債費）	35 万円	62 万円
その他生活費（物件費・補助費等・維持補修費・貸付金）	130 万円	97 万円
家の増改築費（普通建設事業費）	101 万円	49 万円
子どもへの仕送り（他会計への繰出金）	33 万円	37 万円
合計	481 万円	372 万円

貯金と借金

10年前と比較すると、貯金が減りローン残高が増えていることが分かります。

年収を500万円とすると・・・

	平成26年度	平成16年度
貯金残額	60 万円	63 万円
ローン残高	295 万円	275 万円

市には5つの お財布が

市では、収支の管理を5項目に分けて行っています。これは、家庭の支出で考えると、用途別にお財布が5つあることと同じです。

5項目は次のとおりで、「一般会計」と「特別会計」に分かれています。「一般会計」は基本的な行政運営の経費を賄うもので、「特別会計」は独自の収入があるもので、市には4つの特別会計があります。

特別会計

後期高齢者医療事業特別会計

介護保険事業特別会計

下水道事業特別会計

国民健康保険事業特別会計

一般会計

一般会計の平成26年度決算を中心に市の財政状況を公表し、皆さんが納めた税金がどのように使われているかお知らせします。

海老名市の 財政状況

関企画財政課 ☎(235)8453

市の お財布事情

「現在と10年前の家計簿で比べてみよう」

市の財政状況とその変化を、平成26年度と10年前の16年度の一般会計決算額で比較してみました。

なお、変化を分かりやすく示すため、数値を年収500万円の家計簿に換算したこと、一般的な家計簿の分類とは一部異なる部分があります。

